



水道橋畔発

第23号 平成27年12月

10月1日医療連携報告会が開催されました



今年起きたもう一つの奇跡

東京歯科大学水道橋病院
病院長 矢島 安朝

1年はあっという間に過ぎてしまい、今年も師走を迎えてしまいました。先生方には本年も水道橋病院が大変お世話になり、誠にありがとうございました。

心から御礼申し上げます。

前回の水道橋畔発では「猪苗代湖畔で起こった野口英世親族との奇跡」について記載しましたが、今回は、今年起こったもう一つの奇跡について書きたいと思います。

今年の5月に同窓会支部四国連合会に出席するため、羽田から高知空港に向かう機内に乗り込んだ時です。自分の席を見つけ窓側に座ろうと隣の席の方を確認すると、なんと塩崎厚生労働大臣だったのです。ただ単に隣の席だという理由だけで話しかけるのもずうずうしいと思い躊躇していると、そこに、私の知っている自民党の衆議院議員が乗り込んで来たのです。突然「どうして二人で並んで座っているのですか！」と大声をあげ、私のことを紹介してくれたので、ありがたいことに塩崎大臣と名刺交換をし、高知空港までの小1時間、ずっと大臣とお話することに成功したわけです。現在の歯科界の閉塞感や数年前のインフラ

ントの問題等を話題に出したのですが、残念なことに大臣は歯科のことをあまりご存じないようでした。私は、このままでは会話が続かないとあせり、高校の1年後輩が厚労省の保険局長であることを思い出し、彼のことを告げると、大臣は「あ～先生も〇〇高校の出身ですか。〇〇高校では先生の4.5年先輩の十数名が、西穂高岳の集団登山の最中に落雷事故で亡くなっていますよね。局長から聞きました。」と私の高校のことを良く知っておられました。これは、私の後輩が、出身高校を覚えていただくほど頻繁に大臣と個人的な話をしているからなのでしょう。一方、悲しいかな、現状では歯科の事情を印象強く大臣に伝える官僚がいないのでしょう。少なくとも、個人的な話ができるほど頻繁に大臣に会える歯科医師出身官僚は皆無なのでしょう。もし、局長や事務次官を狙えるような歯科医師官僚を作ることができれば、もっと歯科界の情報は正確に、印象に残るように厚生労働大臣に伝わり、理解を深めていただけるのだらうと思いました。今の歯科界の閉塞感を改善する手段の一つが見えてきたように感じました。

さて、今年の水道橋病院医療連携報告会は10月1日に行われました。今回も多くの先生方にお集まりいただき、楽しい講演会と懇親会を催すことができました。医局員、職員一同、心より感謝申し上げます。

水道橋病院では地域医療連携を強化する目的で、2014年4月から地域医療連携室に専任の事務職員2名を配置し、正式な稼働を始めました。当院での医療連携の目標として、1) 地域医療機関(病院、診療所)との連携強化、2) 紹介患者への適切な対応と迅速な返書の徹底、3) 緊急時等の協力病院との連携、4) 症例報告会や研修会の充実、などがあげられます。また、この医療連携室を支える委員会は、21名の学内委員と地域歯科医師会を中心とした7名の学外委員で構成されています。

千葉からの大学移転とともに、水道橋病院の診療科の充実がはかられました。それに伴い、地域歯科診療所からの紹介患者数は増加の傾向にあります。地元千代田区をはじめ、中央区、江戸川区、板橋区、新宿区、練馬区などから毎年多くの紹介患者が来院し、他県も含めると約2000の施設からご紹介を受けていることになります。その一方で、医学部付属病院を含めた医科病院との連携強化が今後の課題として残されています。

水道橋病院では、地域医療連携に関わる先生方と

の交流を深めるために、これまで継続的に「医療連携報告会」を開催してまいりました。特に、開業医の先生方に興味を持って頂ける講演内容を企画することで好評を博しており、毎年100名を越える多くの先生方に集まって頂いております。今年度の報告会は、「高齢化・多様化に応える水道橋病院専門外来」というメインテーマの下に3つの講演を企画致しました。内科、摂食嚥下、ペインの各外来で現在活躍中の先生方からのメッセージは、今後の日本が抱える健康長寿の課題に相応しい内容でした。また今年度は、報告会終了後に14階の会議室を利用して懇親会を開催致しました。本学と医療連携機関との絆をより一層高めることができたのではないのでしょうか。

水道橋病院の医療連携室は、地域の先生方との緊密かつ円滑な連携を通して、より良い医療サービスを提供できるよう、今後一層の充実を図っていく所存です。

副病院長・地域医療連携室長
山下 秀一郎

水道橋病院の新しい内科外来 —各専門外来の紹介も含めて—

内科科長
山 岸 由 幸

平成27年4月より水道橋病院内科は科長が交代し新体制となりました。内科外来では超高齢化社会に向け、健康寿命増進のため歯科・医科の融合を深化させ、特に生活習慣病患者の受け入れを広く進めてまいります。

また当内科は専門性を必要とする患者さんについても、前任の仁科医師は水曜に外来継続いただき神経疾患、月曜午前の林医師は循環器、月曜午後、木曜午前にはそれぞれリウマチ膠原病、呼吸器の専門医を持った医師が診療可能です。消化器疾患は山岸が担当いたします。上部消化管内視鏡はスクリーニングから口腔悪性疾患では症例に応じ特殊光(NBI)や拡大内視鏡、ヨード染色等精査を行います。禁煙外来は水曜午後、睡眠時無呼吸外来も水・金に継続して行います。金属アレルギー検査は今年度よりチタンを含む18種類に拡充しました。痛みや心療歯科は専門外来を設けて宮地医師により火曜月2回対応しております。

歯科口腔外科患者さん増加に伴い、ニーズも多彩になると思いますが、依頼いただいた先生方、受診した患者さんに満足いただけるような診療体制を目指しますのでよろしくお願いいたします。

Aging in place を支援する 当院の摂食嚥下リハビリテーション

摂食嚥下リハビリテーション科科長
石 田 瞭

Aging in place とは、『住みなれた地域でその人らしく最後まで』にあたる概念で、日本語では『地域居住』と訳されています(松岡洋子著書より)。恐らく誰もが心の中に持ち合わせているもので、現在、国が進めている地域包括ケアシステムの根幹に相当すると考えています。

Aging in place 実現には、口から食べることも大切な要素となります。その人らしさには、食習慣も十分関わるからです。食べることの支援は、我々歯科医療従事者の使命です。普段の先生方による日常診療が、支援そのものであるはずですが、患者が急性疾患や老化により、外来受診できなくなったらどうでしょうか? 患者の本心は、長年口の中を見てもらい信頼する先生方に、口の健康を守ってほしいと願っているのだと感じます。このようなケースでは、とりわけ食べ方に対する指導の必要性を痛感することも多いと思います。そのような方々の声に耳を傾け、是非一緒に、その人らしい食をサポートして参りましょう。

口腔顔面痛みセンター／リラックス 歯科治療外来とこれからの専門外来

障害者歯科・ペインクリニック科科长
福田 謙一

口腔顔面痛みセンターは、2000年11月に開設され、非歯原性歯痛、口腔顔面領域の神経痛や筋・筋膜痛、抜髄・抜歯後の異常慢性疼痛、舌痛・粘膜痛、いわゆるバーニングマウスなど歯科の一般の診療所で扱えない痛みを訴える患者さんを対象にペインクリニックを行ってまいりました。またリラックス歯科治療外来は、2001年3月に開設され、歯科の一般の診療所で扱えない極度の歯科恐怖症、異常な嘔吐反射を有する患者さん、局所麻酔が効き難い患者さんなど歯科治療困難患者さんを対象に行動調整下の歯科治療を行ってまいりました。両外来とも、開設されて以来15年が経過し、治療内容は益々充実しております。日常臨床で困惑した患者さんがおられましたら、ぜひご紹介ください。本年4月に新設された神経損傷後のしびれや痛みを訴える患者さんを対象とした神経修復外来、本年4月から主要なスタッフが千葉病院から移動し充実してきた睡眠時無呼吸外来も含めて、水道橋病院専門外来をどうぞよろしくお願い致します。

東京歯科大学水道橋病院 医療連携報告会

【第1部 講演会】

司 会	副病院長・地域医療連携室長 山下 秀一郎
開会挨拶	病院長 矢島 安朝
講演①	内科科長 山岸 由幸 「水道橋病院の新しい内科外来 —各専門外来の紹介も含めて—」
講演②	摂食嚥下リハビリテーション科科長 石田 瞭 「Aging in place を支援する 当院の摂食嚥下リハビリテーション」
講演③	障害者歯科・ペインクリニック科科长 福田 謙一 「口腔顔面痛みセンター／ リラックス歯科治療外来とこれからの専門外来」

【第2部 懇親会】

司 会	副病院長・地域医療連携室長 山下 秀一郎
開会挨拶	病院長 矢島 安朝
乾 杯	地域医療連携委員会学外委員 臼田 準
歓 談	
閉会挨拶	病院長 矢島 安朝

歯科専門外来のご案内 ※要予約

名 称	担当科	診察日	内 容
口腔ケア外来	歯科衛生士部 ☎03-5275-1721・1722	月～金曜 9:00～12:30 13:30～17:00	「口腔ケア外来」は2階診療室にあり専属の歯科衛生士を配置しております。担当歯科衛生士制のもと高度なプロフェッショナルケアを提供することで、患者さんの口腔健康維持のお手伝いを致します。今後、医科との提携した口腔ケアにも積極的に従事致します。都心型の口腔ケアをご用命の際は、是非ともご依頼下さい。
睡眠時無呼吸症候群外来	内科 ☎03-5275-1926 健康スポーツ歯科 ☎03-5275-1721・1722	火～金曜 9:00～17:00	就寝中の「無呼吸」や「低呼吸」など、睡眠障害のひとつである睡眠時無呼吸症候群の治療を行います。
神経修復外来	口腔外科 ☎03-5275-1725	第1・3火曜 第2・4木曜 いずれも 13:30～17:00	神経麻痺に対し、各種検査法を用い正確に診断し、適切な治療方針を提示した、薬物療法、理学療法、神経修復手術などによる治療を行います。
リラックス歯科治療外来	歯科麻酔科・ ペインクリニック科 ☎03-5275-1851	月～金曜 9:00～17:00 土曜 9:00～13:00	歯科治療をうけることに不安があるとお悩みの方（歯科恐怖症、著しい嘔吐反射を有する方など）の治療を行います。
口腔顔面痛みセンター	歯科麻酔科・ ペインクリニック科 ☎03-5275-1851	月～金曜 9:00～17:00 土曜 9:00～13:00	口腔顔面領域（歯、顎、顔面の筋肉、神経、舌など）の異常な痛みやしびれをお持ちの方の疼痛緩和治療を行います。
禁煙外来	内科 ☎03-5275-1926	水曜 14:00～17:00	医師、歯科医師、看護師、歯科衛生士のチームが禁煙をサポートいたします。スクリーニングテストにてニコチン依存症と診断され、直ちに禁煙を希望される方が対象で、初診時、2週間後、4週間後、8週間後、12週間後の計5回診察を受けていただく必要があります。



ーコラムー 「首を絞める」

補綴科
老年歯科補綴学講座
教授 櫻井 薫

今回からこの水道橋畔発に「コラム」という新企画が設けられ、その第一回目の執筆者が私となった。「コラム」というと新聞などでは、ニュース以外の記事で、個人的な分析や意見が述べられている。さてどのような内容にしようか悩むところである。また第一回目というものは、何事もそれ以降のことに影響を与える。すなわちこのコーナーの雰囲気を決めるので重要であるが、そのようなことに気を使っていると自分で自分の首を絞めることになる。なにせ急に依頼されたので、時間がない。

「首を絞める」で思い出すのは、ある方の法要に出席した時に土産として、故人が使用していたネクタイを男性全員が頂戴した。故人の記念になる品なので、皆ありがたく自分の好きな柄を選択して、持ち帰った。帰路で、現在、非常勤講師かあるいは日本歯科医師会常務理事として活躍されている方かどちらかが「何だかこれを使用すると、急げた場合に故人から首を絞められているような気がする

のでは」などと冗談を言っていたが、どのようなネクタイでもネクタイは、首を絞めるようなものである。

近年、環境対策を目的としたクール・ビズなるキャンペーンで、4、5ヶ月間ネクタイをしない日が大半となったので、クール・ビズが終了してネクタイを徐々に締めると首が窮屈である。「ネクタイを絞める理由なんてのは1コしかねえ。仕事が無事に終わった後に“緩める”ためだ。」と日本漫画「宇宙兄弟」の中で、ピコ・ノートンが言うように、絞めているときには窮屈な仕事用のものであるが、対外的には見栄えは良くなる。

スーツの時にはいくら真夏であろうとネクタイを着用しないと格好が悪く、だらしない感じがするが、スーツでなければタイをしていなくてもそのようには感じない。私見ではあるが、いずれにしても相手に不快感を与えないような格好であることが大切ではないかと思っている。首回りが窮屈だと仕事に支障をきたすので、最近私は、スーツでない時には首が苦しく感じない、ローマ時代のフォカレ(focale)や昔のクラバット(cravate)風に首周りに木綿、絹あるいはウールの布をやさしく結んでいる。自分で自分の首を絞めたくはない。

【各診療科等ダイヤルインについて】

※患者さまには各科の直通電話番号をお知らせ下さいますようお願いいたします。

5階	内 科	03(5275)1926
4階	口 腔 外 科	03(5275)1725
	歯 科 麻 酔 科・ ペインクリニック科	03(5275)1851
	放 射 線 科	03(5275)1953
3階	補 綴 科	03(3262)3425 3426
	口腔インプラント科	03(5275)1760
	矯 正 歯 科	03(5275)1724
	小 児 歯 科・ 障 が い 者 歯 科	03(5275)1723
	眼 科	03(5275)1856
2階	保 存 科	03(5275)1721 1722
	摂 食 嚥 下 リハビリテーション科	03(5275)1732
	健康スポーツ歯科	03(5275)1721 1722
1階	医 事 課	03(5275)1932
	地 域 医 療 連 携 室	03(5275)1732

水道橋病院 診療案内

初 診 受 付	平日、土曜とも 8:50～11:00
お 問 い 合 わ せ 時 間	平日 8:45～18:00 土曜 8:45～13:00
休 診 日	第2土曜、日曜、祝日、 本学創立記念日(2月12日)、 年末年始

年末年始診療のご案内

平成27年12月29日(火)～

平成28年1月4日(月)まで、休診となります。

※平成28年1月5日(火)は9:30から診療を開始いたします。

編 集 後 記

暖かい日が続く、なんとなくメ切がまだだろうと思っていたら急に寒くなり、メ切が目前に迫っていました。毎回、冬の号は症例報告会を中心にまとめてきましたが、今回から病院長の発案で、教授のコラムを載せることにしました。その第1回目は補綴科の櫻井教授にお願いしました。今後も続けていく予定で、各教授の人となりをお伝えできればと考えております。(片田英憲 記)